

秋田工業高等専門学校		開講年度	令和04年度(2022年度)		授業科目	国語Ⅱ(2C)	
科目基礎情報							
科目番号	0023		科目区分	一般/必修			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位:2			
開設学科	一般教科(人文科学系)		対象学年	2			
開設期	後期		週時間数	2			
教科書/教材	教科書:『ちくま評論入門』二訂版(筑摩書房) 辞書:国語辞典(電子辞書も可) 補助教材:『常用漢字ダブルクリア四訂版』(尚文出版) 新版六訂『カラー版 新国語便覧』(第一学習社)						
担当教員	石塚 政吾						
到達目標							
1. 論理的な文章を読み、論理の構成や展開の把握にもとづいて論旨を客観的に理解し、要約し、自分の意見を表すことができる。 2. 文学的な文章を読み、表現方法の特徴を踏まえて人物・情景などを理解し、人間・社会・自然などについて考えを深めたり広げたりすることができる。 3. 現代日本語の運用、語句の意味、常用漢字等の知識について理解を深め、正確かつ豊かに表現することができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	論理的な文章を読み、論旨を客観的に理解し、要約し、自分の意見を表すことができる。		論理的な文章を読み、論旨を客観的に理解し、要約することができる。		論理的な文章を読み、論旨を客観的に理解し、要約することができない。		
評価項目2	文学的な文章を読み、表現方法の特徴を踏まえて人物・情景などを理解し、人間・社会・自然などについての考えをまとめることができる。		文学的な文章を読み、表現方法の特徴を踏まえて人物・情景などを理解し、あらすじをまとめることができる。		文学的な文章を読み、表現方法の特徴を踏まえて人物・情景などを理解することができない。		
評価項目3	現代日本語の運用、語句の意味、常用漢字等の知識について理解し、正確かつ豊かに表現することができる。		現代日本語の運用、語句の意味、常用漢字等の知識について理解し、正確に表現することができる。		現代日本語の運用、語句の意味、常用漢字等の知識について理解できず、正確に表現できない。		
学科の到達目標項目との関係							
(D)コミュニケーション能力 D-1							
教育方法等							
概要	論理的な文章や文学的な文章を読むことを通して、日本語の表現や思考方法を学び、自分の考えを他者に正確に伝えることが出来るようにする。						
授業の進め方・方法	講義形式で行い、適宜、小テストを実施する。定期的にレポートの提出を求める。						
注意点	合格点は50点である。到達度試験(中間)と到達度試験(期末)の成績60%に、ファイル整理・授業態度など平素の成績を10%、漢字小テストの取り組みを30%として加え、評価する。(講義を受ける前)教科書、副教材、国語辞典を忘れずに準備し、該当箇所を通読しておくこと。(講義を受けた後)言葉の意味や読みなどを確認をして基礎知識の定着をはかり、文章の内容について自分の意見や感想を書いてほしい。						
授業の属性・履修上の区分							
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応		<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
後期	3rdQ	1週	授業のガイダンス	授業の進め方と評価の仕方について説明する。			
		2週	話しかけることば	論理的な文章を読んで、要約することができる。			
		3週	ふたつの誤り	同上			
		4週	グーグルマップの世界	同上			
		5週	手	文学的な文章を読んで、あらすじや感想をまとめることができる。			
		6週	国家権力とは何か	論理的な文章を読んで、要約することができる。			
		7週	同上	同上			
		8週	到達度試験(後期中間)	上記項目について学習した内容の理解度を確認する。			
	4thQ	9週	到達度試験の解説と解答	到達度試験の解説と解答			
		10週	国境を越えることば	論理的な文章を読んで、要約することができる。			
		11週	現代における人間と政治	同上			
		12週	奇妙な仕事	文学的な文章を読んで、あらすじや感想をまとめることができる。			
		13週	失明の時代	論理的な文章を読んで、要約することができる。			
		14週	同上	同上			
		15週	到達度試験(後期末)	上記項目について学習した内容の理解度を確認する。			
		16週	到達度試験の解説と解答	到達度試験(後期末)の解説と解答、および授業アンケート			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	3		
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べる事ができる。	3		
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べる事ができる。	3		

				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3	
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	3	
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	3	
				専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	3	

評価割合

	試験	小テスト	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	30	0	0	0	10	100
基礎的能力	60	30	0	0	0	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0